

## 「海外から見た日本の剣道」シリーズ その2

M.L.TRANDING CO.LTD 取締役社長 劉 チェンさんに  
ご自身の剣道人生やお国の剣道事情などを語って頂きました。

## プロフィール

名前：劉 チェン (47歳)  
 職業：M.L.TRANDING CO.LTD 取締役社長  
 剣道歴：25年 段位：錬士六段  
 所属：陵剣会 (大阪府立大学 OB会)  
 他：第19回全日本女子学生剣道優勝大会出場  
 2006年香港アジアオープン大会団体優勝  
 第14回ブラジル世界剣道選手権大会出場  
 (敢闘賞獲得)  
 第15回イタリア世界剣道選手権大会出場  
 第16回東京世界剣道選手権大会出場

## 前編：日本へ

1993年、74歳の祖母が55年も離れていた祖国日本に帰国することになりました。当時、高校三年生の私が、憧れの国、日本に行けることを知り、かなり喜んでいて覚えています。幼馴染たちと離れ離れになる悲しみを覚える余裕もなく、中国の下田舎町からいきなり経済大国の日本で生活することに、興奮気味で毎日ワクワクして待ち構えていました。当時の自分は、言葉の壁、文化の壁など全く考えていませんでした。

祖母は19歳の時、家族と一緒に中国の東北地方に渡り、結局日本に戻れずそのまま長い間中国で暮らしていました。私は小さい時から家に中国語を上手に話せないおばあちゃんがいることに慣れていました。祖母は決して家族の誰にも日本語を教えることはありませんでした。だから私は日本にくるまで日本語と日本文化に触れることは一切ありませんでした。その影響で、いざ日本にくと、まったく話せませんでした。

18歳という花のような青春時期なのに、言葉が通じなくて、友だちもいない日本での生活がはじまりました。ずっと思い描いていた理想の生活と全然違いました。当時の日本の流行りは白いハイソックスに、金髪に、ガンクロメイクでした。私が想像していた日本と遙かに違って、一瞬後悔した覚えがあります。周りには一人も日本人らしい日本人友達がいませんでした。面白くなく一年が過ぎたところで、中国にいる両親に帰りたいと話しましたが、両親から三年間我慢する条件を出され、三年経っても帰りたい気持ちが変わらなければ、帰国してもよいと決められました。

当時の私はすでに義務教育年齢を超え、普通の高校には入れないため、夜間中学校で無料の日本語授業を受けていました。その時の担任の先生は50代後半の男性先生で、私に大学受験を勧めてくれました。授業料のこと

を考えて、国公立大学を受験するためには、日本語一級が必要であるため、日本語学校に入るべしと教えてくれました。残りの二年間を面白くなく過ごすより、何か目標があるほうが時間の経つのが早いと思い、日本語学校に入学し、大学受験に向けて勉強をし始めました。それが、私の人生の大きな分岐点でありました。

## 中編：剣道との出会い

一年半の勉強を経て、日本語一級が取れました。それと共に、日本語も話せるようになりました。しかし、日本人の友たちは相変わらずいません。帰国するか大学に進学するかを迷いはありませんでした。日本語学校の一年半は毎日いろいろな外国人の友人たちと楽しく過ごし、休みの時は一緒に旅にでました。遊んでいるうちにいつか日本以外の国にも行ってみたい気持ちが強くなり、中国の田舎に帰りたい気持ちは薄れていきました。

大学に入学した日は今でも覚えています。一人で校内をぶらぶらして帰る道で、部活勧誘の日本人学生に引き止められ話しかけてくれました。おそらくそれは初めて若い日本人学生に話しかけられた時でした。一瞬何を話せばいいのかわからなくて、下手な日本語で色々聞きましたが、相手は留学生だと分かり、説明が面倒になり、そのまま終わってしまいました。いま思えば、その学生さんは面倒ではなくて、ただただ恥ずかしかったのかもしれない、ガツガツ聞く私にどう答えればいいのか分からなかったのかもしれない。当時の私には理解できませんでした。今の自分でしたら、きつとうまく対応できたと思います。

最初の大学生活も思ったより充実したものではありませんでした。勉強はそれほど難しくありませんし、バイトもそれほどしていませんでした。このままでは、つまらない四年間を過ごしてしまうだろうという思いから、唯一知っていた空手部を見学しようと、体育館の奥にある空手部に向かいました。それは一年生の秋頃、清々しい秋晴れの日でした。

空手部に入部体験したいと伝えましたが、掃除をしている学生の中から、キャプテンらしい女子学生が来て言われたのは、今日は空手部がお休みで、ここは剣道部です。よければ明日もう一度来てください、明日は空手部の練習があります、と。

明日ですね、わかりました。しかし、剣道？なにそれ？剣道って、刀を使う武士のこと？え？ここにあるの？どういうものですか？見学していいですか？と、沢山話を聞こうとしましたが、時間がきたようで、とりあえず見

学していいと許可をもらいました。正座になり、学生が  
一斉に整列し、「黙想～」という号令に、先程まで賑や  
かな道場が一瞬に静まり返り、自分の脈の動きが聞こえ  
るくらいの静寂が訪れました。少し高めの大きな窓から  
秋の夕日が古い道場の床を射し、そして目の前に日頃全  
く理解できない同年代の日本人の若者達が、先程まで話  
していた若者たちと違う、平常心かつ真剣な表情で目を  
閉じ、神秘的な顔で佇んでいました。その一瞬は自分が  
ずっと求めていたフィーリングがここにあったという瞬間  
でした！

入部させてくださいと、もちろんすぐお願いしました。  
女子キャプテンの、明日の空手部をみなくていいです  
か？というやりとりから、私は、大学一年生の秋、22歳  
の時、剣道に出会い、大阪府立大学体育会剣道部に入部  
しました。

### 後編：私にとって剣道とは

大学三年生、剣道初段の時、プロフィールにも書いて  
あったように、全日本女子学生優勝大会に出場するこ  
うことができました。当時女子部員数は自分を含めて5人  
でした。補欠なし5人のみのチームでした。当時の私は全  
日本に出場することの凄さがわからず、ただ所属してい  
る剣道部の皆さんに迷惑をかけたくないという気持ちだ  
けでした。それまでに出会った日本人たちと違って、生  
き生きとした本当の日本の若者の一面を見せてくれた  
剣道部の仲間の足を引っ張りたくないという気持ちで、  
毎日必死に練習しました。目的は一つだけ、絶対に剣道  
部のみんなに迷惑をかけないことでした。その強い気持  
ちにさせてくれたのは、剣道部の恩師、そして剣道部の  
仲間でした。下手な日本語しか話せない、敬語もうま  
く使えない、剣道も完全初心者である私を、剣道部の  
本当の一員として迎えてくれたからでした。大学四年間、  
剣道部の仲間たちと毎日一緒に汗を流し、涙も流し、  
共に喜びを感じ、共に悲しむことにより、それまで全  
然話せなかった、聞けなかった沢山の不思議なものも  
自然と理解ができ、自然と彼らの心に触れて、自然と  
異文化を受け入れられる自分になりました。どんなに辛  
くても疲れても、同じ目標に向かって頑張っていたこと  
は今になって自分の財産であると感じます。剣道を通じ  
て、祖母が私に伝えたくても伝えることができなかった  
ものに触れることができた気がします。そして、どんな  
言葉でも伝えられない無形の文化に触れた気もします。  
それは単に留学するだけ、単に旅行するだけ、単に日本  
に住む

だけでは感じられないことだろうと、私は思います。た  
だ日本に懂れて、日本にきたことは、もう後悔しません。  
なぜなら、剣道に出会えたからです。剣道がなければ、  
日本のことは理解できないままで日本から離れていたと  
思います。

大学卒業してから海外勤務の時も、結婚し退社して子  
育ての時も、社会復帰して自分の会社を設立する時も、  
仕事もうまく行った時もうまくいかなかった時も、剣道  
と離れたことはありません。むしろ忙しくなればなるほ  
ど剣道に触れたいです。剣道に触れると、時には闘争心  
に燃え、時には迷いに落ち、時には落胆をさせられ、し  
かし、必ず最後は平常心に戻り、スッキリした迷いのな  
い自分を取り戻せるのです。それが、私にとっての剣道  
です。

### 続編：これからの剣道人生

剣道への感謝の気持ちは今までも、これからもずっと  
続くでしょう。出身剣道部に、剣道部の恩師に、剣道部  
の仲間達に恩返しとして、去年から府学連の大会の審判  
に登録し、時間がある限りより良い審判ができるように  
稽古も審判技術も積んでいきたいと思っています。学生  
剣道に恩返ししたいと思います。それから、中国代表と  
して世界大会出場は引退しますが、時間がある限り中国  
に戻り中国剣道会と交流していきます。自分自身の経験  
で中国剣道の発展に貢献したいと思います。それから世界  
大会の審判講習会にも積極的に参加します。いつか世界  
大会で目利きのいい女性審判員になることが今の私の夢  
であります。道のりがまだまだ遠いですが、夢に向かって  
日々頑張りたいと思います。これも、剣道への恩返しです。

これからもずっと剣の道を歩んでいくと思います。き  
っといつかどこかで出会えます、その都度ぜひご指導を  
よろしく願います。



## 「この旗の下に」(部旗) シリーズ その4 (ダイハツ工業 剣道部)

剣道部にはその活動理念を簡潔に語る部旗が掲げられています。これを訪ねる企画のシリーズ第四弾です。  
今回は、大阪府池田市に居を構えるダイハツ工業剣道部 部長の菅 嘉毅さんにお話を伺いました。

### 1. ダイハツ工業 剣道部について

弊社剣道部の歴史は長く、1952年に社内の剣道愛好家が集まり、自動車工場の建屋の中で稽古を始めたことが起点となり創部。現在は男女29名の部員が在籍し、火・木の週2回、自社施設内の道場で稽古を行っています。



### 2. 剣道を続けやすい環境づくり

実業団剣士の殆どは通常の社業を持ちながら稽古に励んでおり、弊社も例外ではありません。毎年部員が入部する確約は無く、転勤や出向といった仕事の影響も受けますので、活動を活性化させるには工夫が必要です。私達が重視しているのは、稽古参加へのモチベーションづくりです。剣道歴や価値観の違いを受け入れ、尊重することを指針とし、部員全員がお互いを認め合うことで居心地の良さを醸成する取り組みです。過去に戦績のみを目標に活動した時期には稽古参加率が低下、成績も伸び悩んだ経験から社会人らしい剣道部のカタチを模索しました。現在はワークショップを定期的に開催し、剣道を続ける理由・なりたい姿など、お互いの価値観を理解し合う場を積極的に取り入れています。

日々の稽古では、剣道歴や目的の違う部員が同じ時間を共有し効率的に稽古が出来るよう申合わせの稽古に時間を割いています。これにより部員が其々の課題に取り組み、途中参加し易くなり、短い時間でも参加しようという部員が増えました。

こういった工夫で稽古参加率は上昇、近年は新入社員の入部も続いており、日々の稽古が充実したものとなっています。お互いを認め合うことでチームワークも高まり、トヨタグループの大会で準優勝を頂くなど成果にも少しずつ繋がってきています。

### 3. 部旗「雲外蒼天」に込めた思い

2017年にチームの心の拠り処になる言葉を掲げようと部旗作成を企画、私達らしく部員全員で考えることにしました。様々な候補から、絞り込んだのは雲外蒼天でした。



苦しい状況でも、仲間を信じ、努力を怠らなければ必ずより良い結果がついてくるという言葉の意味に私達らしさを感じたからです。どんな環境にあっても、諦めずに真摯に活動を続けていけば、未来は開けると信じています。

### 4. 最後に

剣道は人間形成の道と言われますが、それは剣道そのものだけでなく、剣道を続ける為の努力や、周囲の人との調和や繋がり、感謝の心など社会人としての成長も含まれていると理解しています。人としての成長が、社会人として剣道を続ける動機の源泉でもあり、魅力であると考えております。様々な価値感を受け入れる努力が剣道の未来に多くの選択肢を創る事にも繋がると感じており、まだまだ未熟な剣道部ではありますが、精進を続けたいと考えております。

(かわら版編集 WG)

Light you up  
DAIHATSU



ダイハツ工業剣道部に関する  
お問い合わせは下記連絡先まで  
出稽古や練習試合等も大歓迎です！  
drc.kendo@gmail.com (連絡窓口:永田)

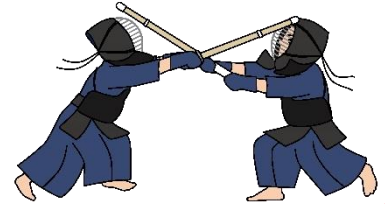
稽古とは  
一から始めて十に至り  
十から戻る  
元その一  
新陰流

## 「道歌を訪ねて」～シリーズ第八弾～

「道歌」は道の極意を簡潔に言い表し、七五調で覚えやすいところから「剣道道歌」をシリーズで取り上げて紹介しています。皆さんからの投稿をお待ちしています！

この道歌は、剣道のみならず芸事の世界でも同じように教えられています。読んで字のごとく、基本の大切さ、常に基本を繰り返し、繰り返して修行を積んでいくことの大切さを示しています。恩師の(故)吉村鼎範士に稽古の後でよく言われた言葉です。大阪版剣道の心でも「剣道は生涯かけて学ぶ道」とうたわれています。

(井口 昭則 かわら版編集 WG)



## 「メルマガ登録のお願い」

(大阪府剣道連盟)

毎月のお知らせのご案内や、大剣連が主催・主管する行事の情報等を配信しております。登録は簡単です。詳細は <https://osa-kendo.or.jp/info/mag> を参照の上以下のメールアドレス、または QR コードへアクセス下さい。  
[info@m.osa-kendo.or.jp](mailto:info@m.osa-kendo.or.jp)



## 「賛助会員加入のお願い」

(大阪府剣道連盟)

賛助会員とは、大阪府剣道連盟の活動の中でも、特に公益性の高い事業について、その趣旨に賛同し、ご支援していただいております個人または団体の会員のことをいいます。賛助会費は、これからの剣道界を担う少年剣士の育成・充実その他剣道の隆盛・発展のために活用させていただきます。ぜひ、賛助会員となって大阪府剣道連盟の活動をご支援ください。

- 1 用紙の入手  
所定の払込取扱票をお持ちでない方は、大阪府剣道連盟までお問合せ下さい。郵送で用紙をお送りする手配をさせていただきます。  
連絡窓口 : 06-6351-3345
- 2 払込取扱票に必要事項を記入の上、お手続きをお願いします。  
※正会員の方も賛助会員として加入していただけます。
- 3 口座名義は「公益社団法人大阪府剣道連盟賛助会」です。  
●振込先 ゆうちょ銀行  
●口座番号 00910-1-23538
- 4 領収書の発行  
振込払込受領証をもって領収書に代えさせていただきます。  
税制上の優遇措置を受けられる方には、入金確認次第、証明書を送付いたします。



詳細は <https://osa-kendo.or.jp/info/supporting> または上記 QR コードへ。